

1学期が始まって、2か月が過ぎました。現在、愛知県下に緊急事態宣言が発令中で、より一層の感染症予防対策に気を付けなければいけない毎日が続いています。今月予定していた2年生の稲武野外学習と3年生の修学旅行は、残念ながら延期になりました。このような状況下で大切なことは、不自由な生活の中でも、やれることを積極的にやっていくことです。

本年度の矢田中学校の努力目標は、「認め高め合う力、通い合う心」です。本年度は、今まで重視してきた仲間との対話活動とともに、生徒の皆さんが、何事に対しても見通しをもったり、粘り強く取り組んだりすることを意識してほしいことから、主体的に取り組む活動にも力を入れています。生徒の皆さんには、学校や家庭において、これまでに身に付けた知識や技能を活用して、様々な問題を解決しながら、よりよい生活を送ることができるようになってほしいと考えています。

そこで、学校生活における生徒の現状を把握するために、調査を行いました。

全校生徒対象、6/3実施  
(317名中、306名回答)



## 学校生活における現状調査結果

◎…よくできている ○…どちらかといえばできている △…どちらかといえばできていない ▲…できていない(分からない含む)

※は生徒が選んだ割合が一番多い回答

### <学習面>

- ①授業の中で、自分の感想や意見を書いたり、発表したりすることができる。  
 ◎…37.6% ○…40.8% △…16.0% ▲…5.6%
- ②授業の中で、仲間の考えを聞いて、仲間の良さに気付くことができる。  
 ◎…60.8% ○…33.7% △…3.3% ▲…2.2%
- ③授業の中で、仲間と話し合う活動を積極的に行い、授業を受けることができている。  
 ◎…53.6% ○…34.3% △…8.2% ▲…3.9%

#### <学習面の調査から分かること>

自分の感想や意見を書いたり、発表したりすることに、自信をもって取り組むことができている生徒はまだ少ないようです。授業において、このような学習活動を継続的に行い、生徒がさらに自信をもてるように働き掛けていきます。

### <生活面>

- ④自主的にあいさつすることができている。  
 ◎…71.9% ○…23.2% △…3.6% ▲…1.3%
- ⑤自分の思いを周りに伝えることができる。  
 ◎…48.4% ○…37.9% △…10.1% ▲…3.6%
- ⑥周りの人の気持ちを理解しようとしている。  
 ◎…61.4% ○…34.0% △…2.0% ▲…2.6%



#### <生活面の調査から分かること>

実際の生活場面でも、元気よくあいさつする姿が多く見られます。また、周りの人の気持ちを理解しようとして心掛けている生徒が多く、思いやりの気持ちが育まれているように思えます。しかし、自信をもって自分の思いを周りに伝えることができる生徒はまだ少ないようです。今後は、自分の思いを周りに伝える場面を増やしたり、伝える際のポイントをアドバイスしたりする支援を行っていきます。

### <特別活動面>

- ⑦学級活動や行事を通して、仲間の良さに気付くことができる。  
 ◎…64.4% ○…27.8% △…3.9% ▲…3.9%
- ⑧学級の一員として、係活動や班活動などに積極的に関わろうとしている。  
 ◎…62.7% ○…30.1% △…5.2% ▲…2.0%
- ⑨自らも努力し、仲間と協力して行事に臨んでいる。  
 ◎…61.8% ○…29.1% △…5.6% ▲…3.5%

#### <特別活動面の調査から分かること>

普段の生活の中で、仲間の良いところを見付けようとする、学級の一員として、自分の役割を自覚して行動しようとする、自分自身も向上心を持ち、仲間と協力して行事を成功させようとしていることができていると実感している生徒が多いようです。学級活動や学校行事などの各場面において、引き続き指導してまいります。

<健康安全面>

- ⑩規則正しい生活を心掛けている。  
 ◎…47.7%    ○…35.3%    △…11.4%    ▲…5.6%
- ⑪清掃活動に積極的に参加をしている。  
 ◎…57.8%    ○…31.0%    △…6.9%    ▲…4.3%
- ⑫防災や防犯についての意識をもっている。  
 ◎…44.8%    ○…42.2%    △…7.2%    ▲…5.8%



＜健康安全面の調査から分かること＞  
 清掃活動については、日頃から意識している生徒が多い反面、規則正しい生活に心掛けたりや防災や防犯について意識したりすることに対しては、自信をもってできていると思う生徒は少ないようです。今後は、学級活動や各種訓練の中で規則正しい生活を送る重要性や防災、防犯の必要性が生徒に十分に伝わるように働き掛けをしていきます。

＜アンケート全般を通して＞  
 全体的には、「認め高め合う力、通い合う心」を意識しながら学校生活を送ることができていると考えます。しかし、一部の生徒は、学校生活に対して戸惑いを感じている場合もあるように思われます。今後も、生徒への働き掛けを続けていくとともに、生徒の実態に応じた個別の働き掛けにも、より一層力を入れていきます。

## 新学習指導要領における評価について

ご承知の通り、本年度から新学習指導要領が全面実施となり、授業で使う教科書も一新されています。新学習指導要領では、学習を通して「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「何が身に付いたか」を、生徒自身が自らの学習を振り返って、次の学習に向かうことができるようにしていきます。

また、新学習指導要領で育む資質・能力として、「何ができるようになるか」という観点から、次の三つの柱からなる資質・能力を総合的にバランスよく育てていくことを目指しています。

- ① 実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能
- ② 未知の状況にも対応できる 思考力、判断力、表現力など
- ③ 学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性など

これまでの各教科の観点別学習状況評価の観点は、4観点（国語科のみ5観点）ありましたが、新学習指導要領では、資質・能力の三つの柱を受けて、すべての教科で、評価の観点が「**知識・技能**」「**思考・判断・表現**」「**主体的に学習に取り組む態度**」の3観点到統一されています。観点ごとにA・B・Cの3段階で評価し、観点別評価の結果を総括して、5段階の評定（5・4・3・2・1）を決定します。日々の授業において、指導者はこれらの観点を意識して評価を行っています。また、先月実施した定期テストにおいても、観点を意識した出題がされています。7月にお渡しする通知表についても、新しい様式になります。

